学校番号	1202

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）音楽表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	世界の歌声（教育芸術社） GarageBand で遊ぼう！～iPhone/iPad 無料アプリで音楽する （リットーミュージック）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に創作・鑑賞を通して、曲想と音楽を形づくっている要素やその働き、文化･歴史的背景との関わりなどの知識や様々な曲種や表現形態に応じた創作の技能や楽曲を開設するための文章表現を身につけます。
・一般の音楽記号・用語だけでなく、音響やMIDI、DTMに関する理論や用語、ケーブルの種類などを学びます。
・課題ごとの品評会では自作品の発表・解説と他作品への評価を行います。また文化祭にむけて作品展示を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
一般の音楽記号・用語だけでなく、音響やMIDI、DTMに関する理論や用語、ケーブルの種類などを知る。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
作品をお互いに聞き、講評しあう。また文化祭での展示発表を意識して作品作りを行う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴った理解による「知識」の習得と実践。 ②音楽の多様性の理解。 ③創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能（演奏・創作・言語化）を身につけ、作品に表すことができる。	①音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。それをどのように表すかについて、表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。 ②粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト・チェックすることができる。 ③各種提出物、作品の完成度。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	創作　基本操作	【GarageBand、MobileV の基本操作】 打ち込み方、楽譜書かれたデータを打ち込んでいく) 【世界の歌声】 MobileV を使って既存の楽曲を上手に歌わせよう	a:創作表現に関わる楽典知識やタブレットでの操作、入力方法を身につける。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 既存のメロディに基本編成(リズム、ハーモニー、ベース)をもとに全体構成を意識して伴奏を創意工夫している。 c:粘り強い取り組みの中で、自ら学習や作品を調整・試行錯誤することができる。	作曲作品(課題の設定目標および発展内容)	考察 品評会における作品解説	作曲作品(オリジナリティや完成度)
	音楽理論	【作曲や編曲を行うための音楽の構造を知ろう】 副読本を用いて打ち込みに必要な楽典・音楽記号を知る。 【世界の歌声】 各国の音楽文化・伝統楽器などを調べる。	a:音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴った理解による知識の習得と実践。 b:各国の特徴的な音楽を鑑賞し、その違いと良さを知覚感受する。 c:品評会での自作品の解説と他作品を評価できる。	筆記テスト ワークシート	楽曲鑑賞ワークシート	ワークシート 授業態度
2学期	創作　音階・コードトーン	【音階】 特徴的な音階を使いメロディを作成する。そのメロディに対し、バンド基本編成をもとに伴奏を作曲する。 【アレンジに挑戦】 つくったメロディを、展開させていく。ループまたは終止感をもたせる楽曲構成を行う。	a:音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴った理解による知識の習得と実践。 b:特徴的な音階を使ったメロディと、基本編成基本編成(リズム、ハーモニー、ベース)をもとに全体構成を意識して伴奏を創意工夫している。 c:作品の完成度を高めるため、粘り強い取り組みの中で、自らの表現作品を試行錯誤することができる。	作曲作品(課題の設定目標および発展内容)	考察 品評会における作品解説	作曲作品(オリジナリティや完成度)
	音楽理論	【作曲や編曲を行うための音楽の構造を知ろう】特徴的な音階やコードトーンについて知る 【世界の歌声】各国の音階、音列などを調べる	a:音楽を形づくっている要素の働きについて実感を伴った理解による知識の習得と実践。 b:特徴的な音階を調べ、表現意図をもって創意工夫している。 c:文化祭展示や品評会での自作品の解説と他作品を評価できる。	筆記テスト ワークシート	楽曲鑑賞ワークシート	ワークシート 授業態度

3学期	創作	【録音機能を使った作曲】 CM 映像・動画にあった音楽を考え、録音機能を用いて作曲する	a:サンプラーでの演奏、セリフ録音を使った作品作りを行う。動画と音楽を編集し、作品を仕上げる。 b:映像の動きや商品のコンセプトを自分なりに解釈し、音や音楽を考え、作曲することができる。 c:粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト＆チェックすることができる。	作曲作品(課題の設定目標および発展内容)	楽曲鑑賞・考察品評会における作品解説	作曲作品(オリジナリティや完成度)

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度